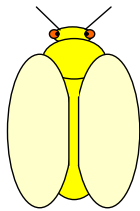


京都府におけるトマト黄化葉巻病と コナジラミ類の発生状況と対策



京都府病害虫防除所

トマト黄化葉巻病の京都府での発生経過と対策

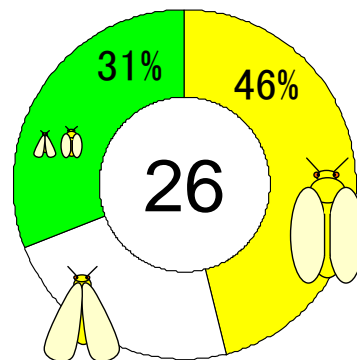
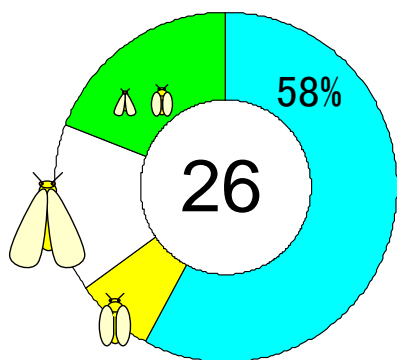
年度	発生地域及び発生箇所数	対策とその後の状況
17	12月 山城で2箇所	1箇所は1月で栽培終了。 1箇所は被害株、周辺株の抜取とコナジラミ防除を行い、5月まで栽培を継続。 コナジラミ密度低下が不十分なため、半数の株を抜取、終息。
18	9月 山城で3箇所 11月 山城で1箇所、南丹で1箇所 1月 山城で1箇所	被害株の抜取とコナジラミ防除を行い、終息。
19	10月 山城で2箇所 11月 山城で1箇所 2月 山城で1箇所	被害株の抜取とコナジラミ防除を行った。しかし、少発生でも発病株の増加した事例あり。
20	9月現在、発生の確認及び報告なし	

* これまで、2年連続してトマト黄化葉巻病が発生したハウスは認めていない。

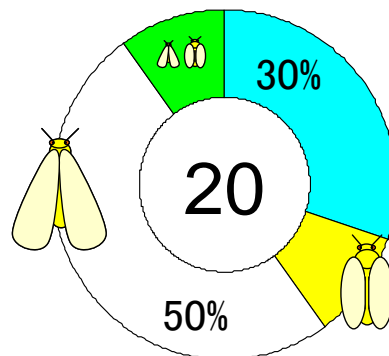
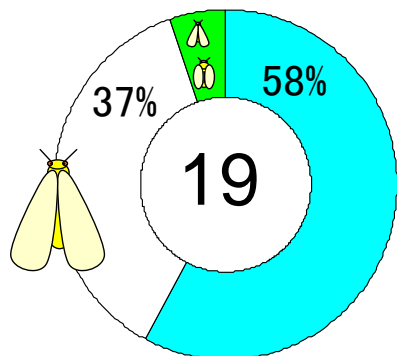
普及センターによるトマト黄化葉巻病とコナジラミ類の発生農家数調査結果(平成19年)

調査時期	トマト黄化葉巻病発生農家数	コナジラミ類の発生農家数		調査農家数()内はミニトマト農家数
		タバココナジラミ	オンシツコナジラミ	
7月	0	7	2	138(16)
8月	0	10	7	129(16)
9月	0	6	6	93(18)
10月	2	27	7	120(19)
11月	3	17	1	104(19)
12月	3	8	1	52(3)

京都市以南



亀岡市以北



半促成(4~7月)

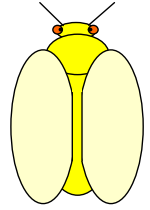
抑制(8~11月)

図 京都府内の施設トマトにおけるコナジラミ類の分布状況(2007年)

ドーナツグラフ中央の数値は調査ほ場数を示す

■ :コナジラミ類発生なし ■ :タバココナジラミのみ発生 □ :オンシツコナジラミのみ発生 ■ :両種発生

まとめ



- ・これまでのところ、京都府では抑制栽培のみでトマト黄化葉巻病の発生が認められており、露地栽培での発生は認めていない。
- ・京都府では、半促成栽培ではコナジラミの発生していないハウスが多く、**タバコナジラミ類は抑制栽培で発生が多くなる傾向がある。**
- ・**タバコナジラミは主に京都市以南で発生し、亀岡市以北ではごく一部の施設でのみ発生が認められる。**
- ・トマト黄化葉巻病が発生した場合、**速やかに発病株を抜き取り、タバコナジラミ類の防除を徹底**することで被害の拡大を防いだ。
- ・防除所ニュースなどで注意喚起を行い、農業総合研究所と共同で発生状況調査を実施するとともに、合同セミナーを開催してきた。